



国際地学オリンピック三重大会

～運営委員会ニュース～



<http://jeso.jp>

Vol.01

2015.10.29 発行

発行責任者

瀧上豊 (運営委員長)



慣れない英語を駆使しながらも大変優秀な成績を収めた選手たち(左から沖中陽幸選手, 土井聖明選手, 辻有恒選手, 茂木隆信選手)

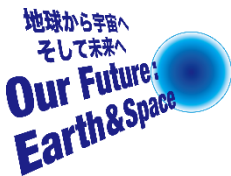
ブラジル大会 金1銀1銅2 獲得

二〇一五年九月十三日～二十日の日程で開催された第九回国際地学オリンピックブラジル大会で、日本代表の高校生四人全員が、金、銀、銅メダルを獲得しました。

ブラジル大会はサンパウロの北約二六〇キロメートルに位置するブラジル南東部ミナスジェライス州ポソス・デ・カルダスにて開催され、二十二カ国・地域から八十五名の選手と六人のゲスト生徒が参加しました。

日本代表高校生は、辻有恒(つじありつね)選手(兵庫県灘高等学校三年)が金メダル、土井聖明(どいきよあき)選手(広島県広島学院高等学校三年)・茂木隆信(もぎたかのぶ)選手(東京都筑波大学付属駒場高等学校三年)が銅メダルを授与されました。

日本は国際地学オリンピックに二〇〇八年から参加し、毎年四名の生徒を派遣してきました。今回で八回目の参加となりました。



運営委員会会議 (十月)

十月十日に行われた地学オリンピック運営委員会会議では、主に三重大会の参加申し込みと大会スケジュールに関する議題が上がりました。

大会参加申し込み締め切り日、大会参加費の金額と振り込み日の再検討、過去の国際地学オリンピックの参加者によるボランティア参加について、大会参加選手のビザ等について議論が交わされました。

なお、大会申込みに関する内容は十一月上旬に英語の国際日本大会JIPD (<http://jeso2016.jp/>)で、各国に公表される予定です。

また、三重大会当日のスケジュールをもとに、各国の選手団の迎ええ方や運営・実行委員の動きに関する詳細な打ち合わせを行いました。

なお、二〇一六年八月二十日～二十八日の日程

で開催される第十回国際地学オリンピック三重大会について、一部のスケジュールが変更となります。

主なスケジュール変更は、(1)八月二十七日(土)夜の「サヨナラパーティー」が二十六日(金)夜に、(2)二十七日(土)午後の閉会式が二十七日(土)午前に移動した二点です。

今後も三重大会の内容に変更点等がある場合には、広報誌にてご報告してまいります。

ひびき

絶好の行楽日和が続いておりますが、もうどちらかへお出かけになられましたでしょうか。この度国際地学オリンピック三重大会の広報誌をお届けすることとなりました。これから二〇一六年の三重大会にむけて毎月広報誌を作成してまいりますので、お時間のある際にお手に取っていただければ幸いです。これからもどうぞよろしく願っています。
(編集担当者：筑波大学修士 多田健太郎)

